

# 本県周辺海域の水温等の動向について

水産研究センター

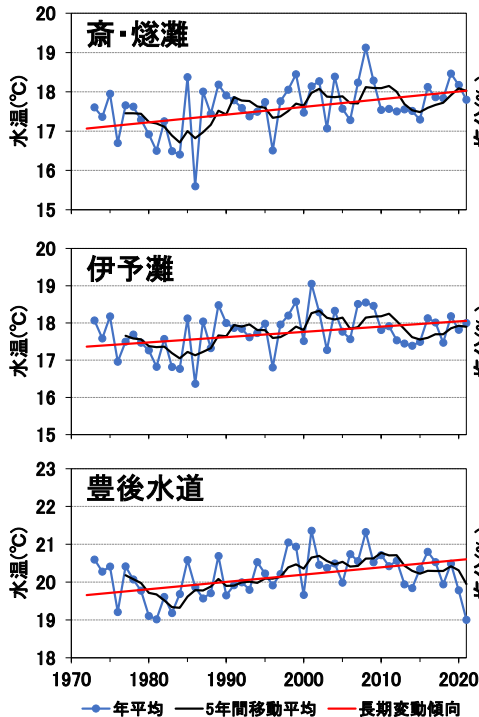
愛媛県では、「斎・燧灘」、「伊予灘」、「豊後水道」の海況の特徴が異なる3海域において、漁船漁業や海面養殖業が盛んに行われています。水産研究センターは1972年4月から試験船「よしゅう」により、毎月1回各海域で海洋観測調査を実施し、それらの情報をホームページ等で公表しています。



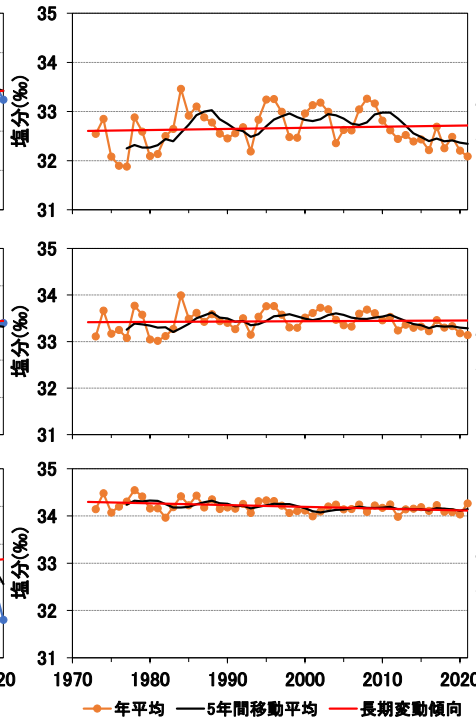
試験船「よしゅう」(77トン)

## 水温・塩分・透明度の変動傾向(1973年～2021年)

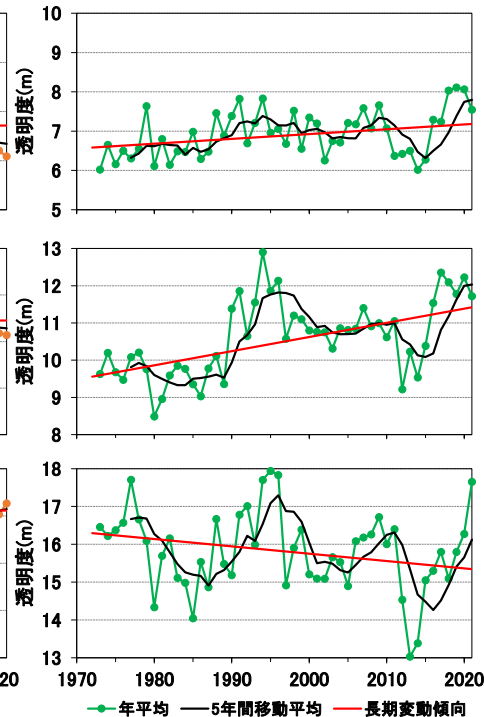
### 水温(10m層)



### 塩分(10m層)



### 透明度



3海域ともに上昇

3海域ともにほぼ横ばい

斎・燧灘、伊予灘は上昇  
豊後水道は低下

49年間で

斎・燧灘 **+0.95℃**

伊予灘 **+0.68℃**

豊後水道 **+0.93℃**

49年間で

斎・燧灘 **+0.11‰**

伊予灘 **+0.03‰**

豊後水道 **-0.17‰**

49年間で

斎・燧灘 **+0.59m**

伊予灘 **+1.83m**

豊後水道 **-0.93m**

本県周辺海域の水温は、地球温暖化等の影響により、49年間で**約0.7～1.0℃上昇**しています。斎・燧灘及び伊予灘の瀬戸内海区域では、透明度の上昇が見られました。